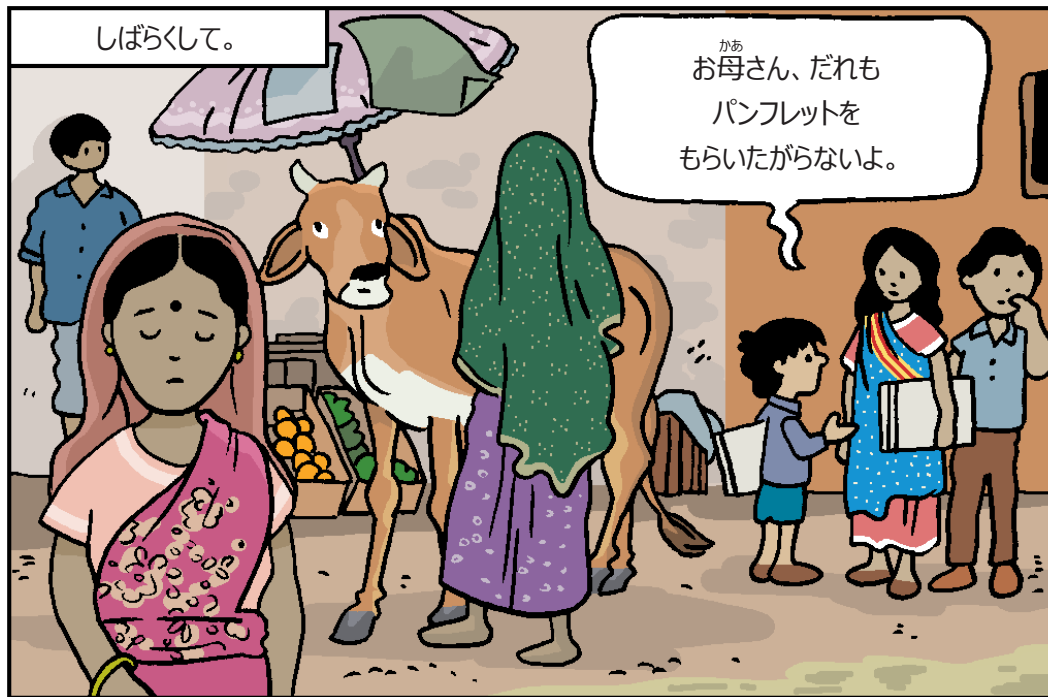


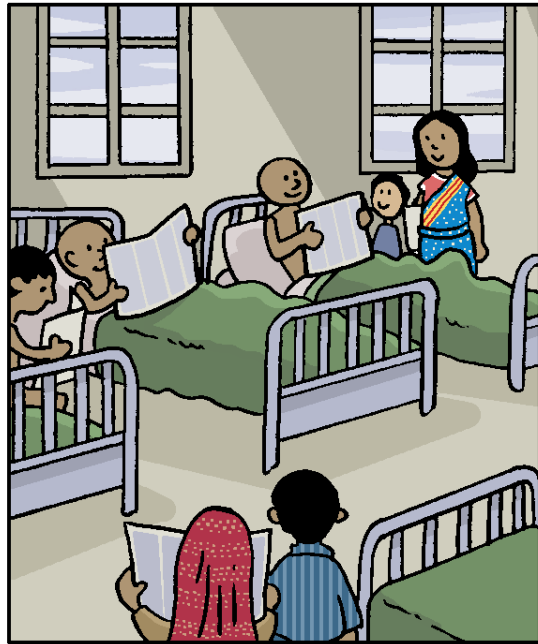
しゅ 主の 導きに 従う



これは、インドにいる 宣教師に 起こった 実話です。

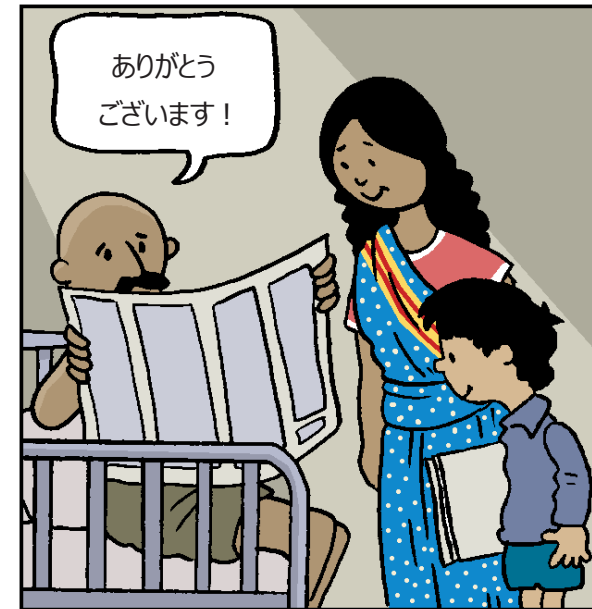
ある 週末、私は 息子と 一緒に、イエス様の 大きな 絵が かかれた パンフレットを 人々に 配りたいと 思っていました。それで、どこで 配ったら いいか 話し合い、祈っていると、無精ひげの 貧しい 年配の 男の人が 病院の ベッドに 座っている 様子が 頭の中 浮かびました。けれども、その 病院には 最近 行ったばかりなので、市場に 行くことに しました。





つぎ 日曜日 わたし
 次の週末、私たちは イエス様 についての
 パンフレットを 500枚 持って、病院 に行きました。
 パンフレットを 配って 患者さんたちを はげまし、
 とても すばらしい 時を 過ごしました。

わたし
 私たちが 最後の 患者さんに 歩み寄ると、手を
 の 伸ばして パンフレットを 受け取った 患者さんが、
 せんしゅういの とき おも 浮かんだ、無精ひげの 男の
 ひと である ことを 思い出しました。立ち止まって
 かれ はな かけると、彼は イエス様の 絵に 自分の
 かお を うずめて 泣き始めました。「わたしの
 イエス様が 来て下さった！」 彼は、何度も
 何度も そう 言って、感謝 しました。「ありがとう
 ございます！」



イエス様は、だれが ご自分の 愛を 求めているかをご存知です。だから、私たちを その人たちに 導きたいのです。
 私たちの 役目は、イエス様の 導きを あおぎ、イエス様に 耳を かたむけ、喜んで 従うことなのです。